

『乳腺手術におけるテープかぶれ調査』のお知らせ

研究目的

肌が繊細な方の場合、絆創膏などの医療用テープでかぶれを起こすことがあります。乳腺手術の後も同様に医療用テープによりかぶれを起こす方がいらっしゃいます。当科ではテープかぶれを起こしにくくするために皮膚保護剤を使用するなど対策を行っています。しかし対策を行っていてもテープかぶれを起こす方は残念ながらいらっしゃいます。本研究は、乳腺手術後のテープかぶれについて調査し、どのような患者さんに起こることが多いのかまとめ、テープかぶれをさらに起きにくくする対策を考えることを目的としています。

対象

2016年10月から2018年9月までに当院で乳腺および腹部手術を受けられた女性患者さんを対象とさせていただきます。

方法

電子カルテから年齢、術式、手術時期、内服薬、治療中の病気、医療用テープによるかぶれの有無、かぶれを起こした方の状況詳細(かぶれの部位、原因となったテープの種類など)の情報を使用させていただきますが、調査結果で個人が特定されることはございません。

研究期間

2018年12月から2019年10月まで

調査について

- ・研究費の助成などは受けていません。
- ・研究の結果は学会発表、論文投稿に使用する場合がありますのでご了承ください。
- ・あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記連絡先までお申し出ください。その場合、不利益が生じることはありません。

連絡先 ご不明な点は下記までご連絡ください。

〒051-8512 北海道室蘭市山手町3丁目8-1 TEL: 0143-25-3111 内線2642(外科外来)
市立室蘭総合病院 外科・消化器外科

責任者：宇野 智子

分担者：佐々木 賢一、齋藤 慶太、小川 宰司、木村 明菜